

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

2024年 05月 14日

静岡県知事殿

提出者

住所 静岡県浜松市中央区高塚町300

氏名 スズキ株式会社

代表取締役社長 鈴木 俊宏

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 053 - 440 - 2287

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

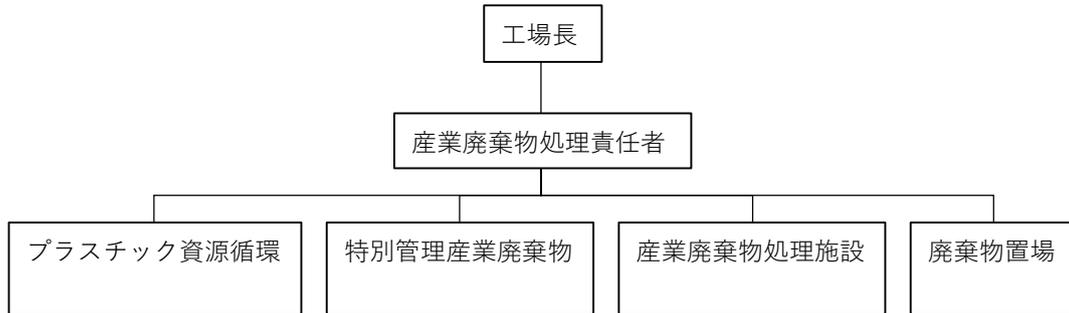
事業場の名称	スズキ株式会社 相良工場
事業場の所在地	静岡県 牧之原市 白井1111
計画期間	2024/4/1 ~ 2025/3/31

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	輸送用機械器具製造業
② 事業の規模	製造品出荷額 1,299,612百万円(税抜)(令和5年度) ※国内四輪工場の総計
③ 従業員数	1,756人(2024年3月度)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙「産業廃棄物「処理フロー」の通り

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	排出量
	汚泥（泥状のもの）	1,582.420 t
	廃プラスチック類	312.400 t
	（これまでに実施した取組） 排水処理工程においてに排水に合わせた薬注量を設定する機器を導入し、薬品使用量を低減することで発生汚泥を抑制、廃棄物を削減する。	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	排出量
	汚泥（泥状のもの）	1,311.296 t
	廃プラスチック類	267.531 t
	（今後実施する予定の取組） 排水処理工程においてに排水に合わせた薬注量を設定する機器を導入し、薬品使用量を低減することで発生汚泥を抑制、廃棄物を削減する。	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃プラスチック（梱包材）の内、再利用可能な種類を分別し、利材売却
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃プラスチック（梱包材）の内、再利用可能な種類を分別し、利材売却

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量
		0.000 t
		0.000 t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量
		0.000 t
		0.000 t
	(今後実施する予定の取組)	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量
		0.000 t
		0.000 t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量
		0.000 t
		0.000 t
	(今後実施する予定の取組)	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	①優良認定処理業者への処理委託量 ②再生利用業者への処理委託量 ③認定熱回収業者への処理委託量 ④認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量				
		① (t)	② (t)	③ (t)	④ (t)	全処理委託量 (t)
		0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
		0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
(これまでに実施した取組)						

		【目標】				
②計画	産業廃棄物の種類	①優良認定処理業者への処理委託量 ②再生利用業者への処理委託量 ③認定熱回収業者への処理委託量 ④認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量				全処理委託量 (t)
		① (t)	② (t)	③ (t)	④ (t)	
			0.000	0.000	0.000	0.000
		0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
		(今後実施する予定の取組)				
※事務処理欄						

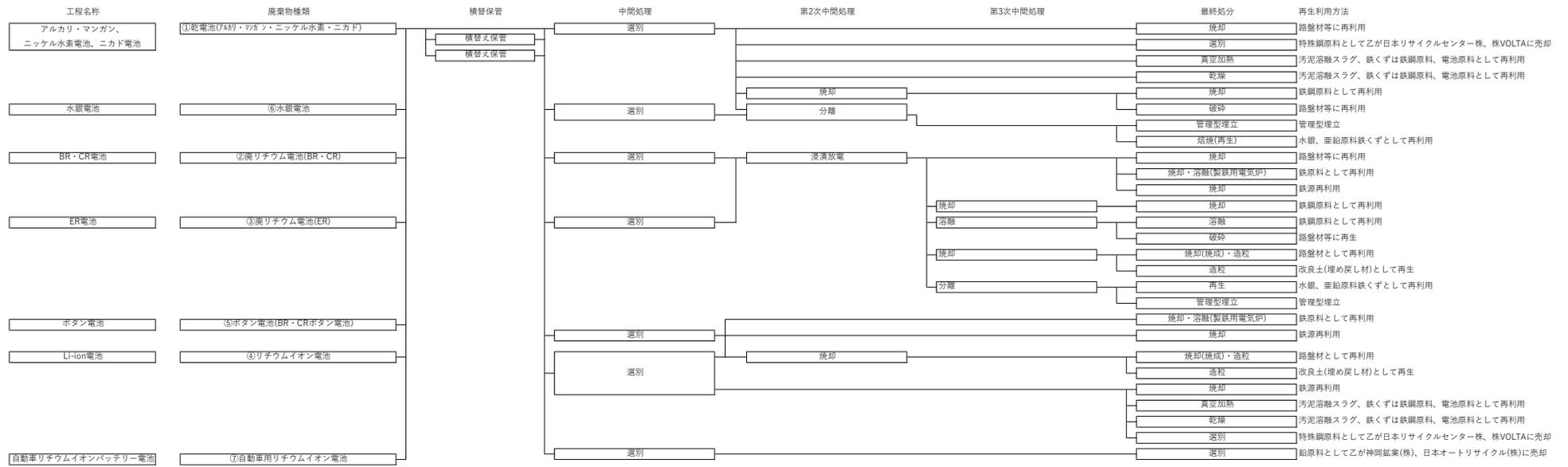
(第6面)

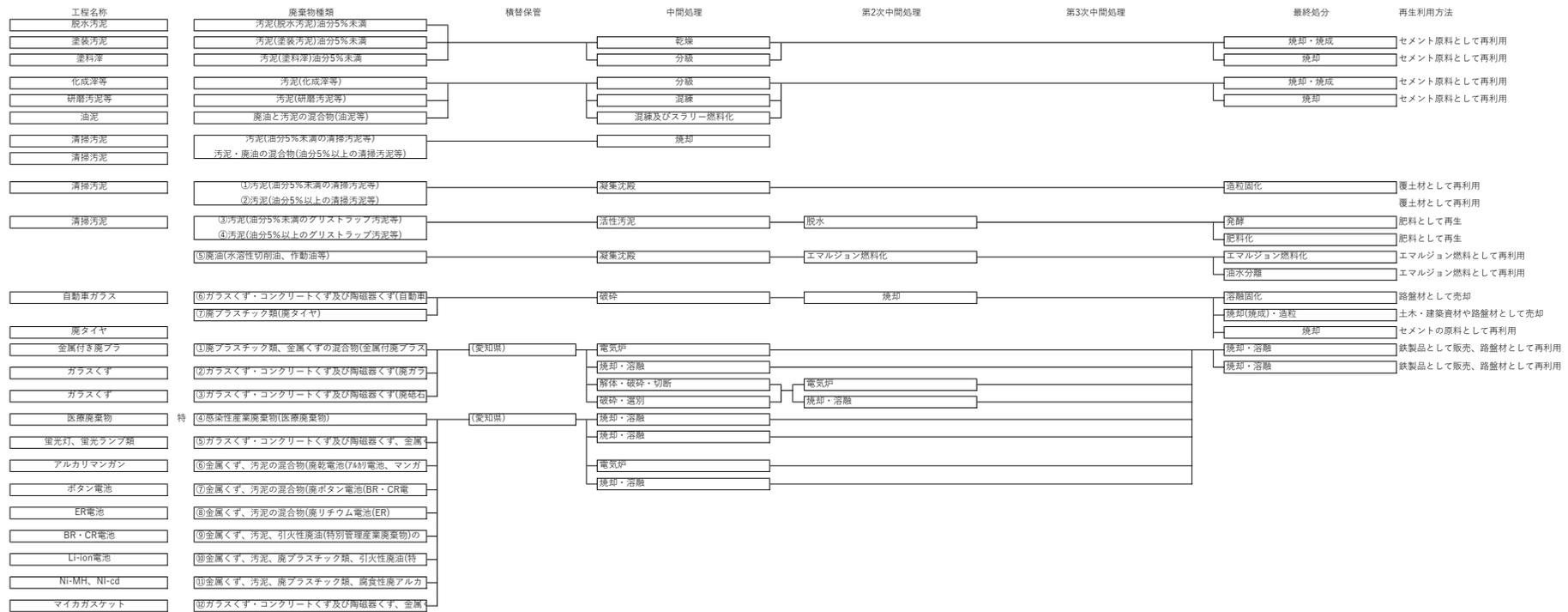
備考

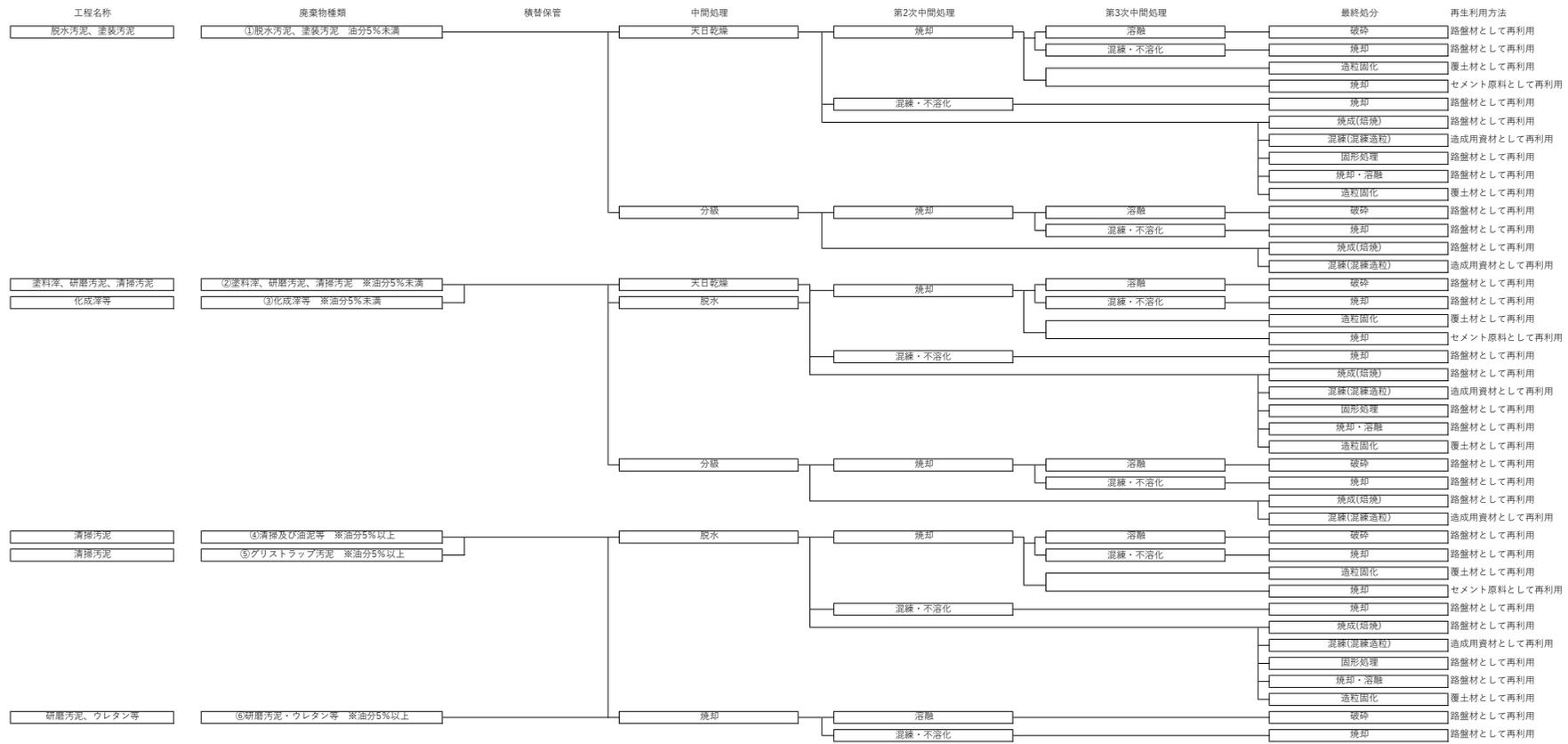
- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

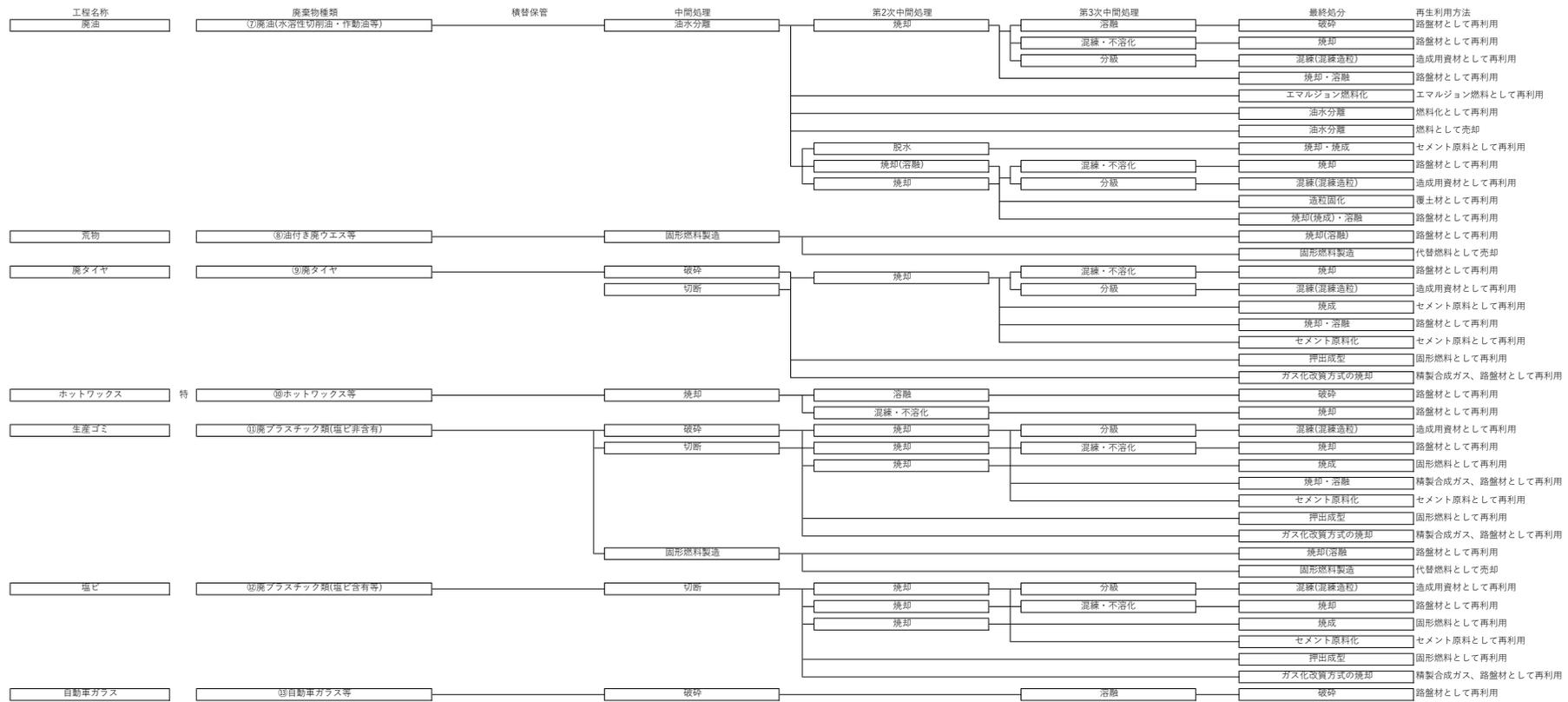
別紙「産業廃棄物 処理フロー」

工程名称	廃棄物種類	積替保管	中間処理	第2次中間処理	第3次中間処理	最終処分	再生利用方法
木くず	木くず(廃パレット等)		破砕			製紙原料又は燃料として第三者に売却	製紙原料又は燃料として第三者に売却
ウレタン	汚泥と廃油の混合物(ウレタン)		焼却	混練・不溶化 分級		焼却(焼成)・造粒 焼却 混練(混練造粒)	再生砂として再利用 セメント原料として再利用 路盤材・造管用資材として再利用
シェルガラ	鉱さい(シェルガラ)		焙焼			中子砂として再利用	中子砂として再利用
珪物排砂	鉱さい(珪物排砂)		分級			焼成	セメント原料として再利用
はいじん	はいじん		分級			焼却 造粒固化 破砕 造粒固化	セメント原料として再利用 再生盛土材、路盤材として再利用 再生盛土材、路盤材として再利用 再生盛土材、路盤材として再利用
地石屑	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(地石くず)		破砕			破砕	路盤材として第三者に売却
金属付き廃プラ	廃プラスチック類 金属くず混合物		破砕			破砕 ※金属くず 破砕)※廃プラスチック類	破砕後、有価物として売却 破砕後、有価物として売却
電着フィルター	特定有害汚泥(シアン含有)(電着フィルター) 特定有害汚泥(シアン含有)(電着汚泥)	積替保管	焼却	溶解 混練・不溶化		焼却(焼成)・造粒 破砕 焼却	土木資材として再利用 路盤材等として再利用 セメントとして再利用
特定有害はいじん(カドミウム含む)	特定有害はいじん(カドミウム又はその化合物を含む)※ 特管		焼成(焙焼)			焼成(焙焼)	土木資材の原料として第三者に売却
廃油(水溶性塗料)	廃油(水溶性塗料)※固まりあり		混練			焼却・焼成	セメント原料として売却
廃油(水溶性塗料)	廃油(水溶性塗料)※固まりなし		混練			混練	燃料として売却
引火性廃油(溶剤塗料)	引火性廃油(溶剤塗料)※固まりあり		混練			焼却・焼成	セメント原料として売却
引火性廃油(酢酸エチル)	引火性廃油(酢酸エチル等)※固まりあり	積替保管	混練			混練	燃料として売却
引火性廃油(溶剤塗料)	引火性廃油(溶剤塗料)※固まりなし		混練			混練	燃料として売却
引火性廃油(酢酸エチル)	引火性廃油(酢酸エチル等)※固まりなし	積替保管	混練			混練	燃料として売却
特定有害廃/5b1	特定有害廃アルカリ		中和酸化還元凝集沈殿	混練		焼成 焼却・焼成 セメント原料製造 焼成 焼却・焼成 分級	セメント原料として再利用 セメント原料として再利用 セメント原料として再利用 セメント原料として再利用 セメント原料として再利用 セメント原料として再利用
電着フィルター	特定有害汚泥(シアン含有)(電着フィルター)		焼却			溶解 造粒固化 溶解固化	セメント原料として再利用 セメント原料として再利用 人口骨材や路盤材として再利用
電着汚泥	特定有害汚泥(シアン含有)(電着汚泥)		焼却			焼却(焼成)・造粒 コンクリート固化	人口砂や路盤材として再利用 再生砕石や再生砂として再利用
生産ゴミ	廃プラスチック類		焼却	分級		造粒固化 焼却 破砕 溶解	再生砕石や再生砂として再利用 セメント原料として再利用 (鉱さい)路盤材として第三者に売却 (溶解メタル・亜鉛鉛原料)有価物として第三者に売却
	特定有害はいじん(六価クロム含む)		溶解			溶解	(溶解メタル・亜鉛鉛原料)有価物として第三者に売却









別紙「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」

前年度(令和5年度)実績					
産業廃棄物の種類	①優良認定処理業者への処理委託量 ②再生利用業者への処理委託量 ③認定熱回収業者への処理委託量 ④認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量				全処理委託量 (t)
	① (t)	② (t)	③ (t)	④ (t)	
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	1.31	1.68	0.00	0.00	2.99
ばいじん(工場の排ガスを処理して得られるばいじん)	21.29	0.00	0.00	0.00	21.29
安定型混合廃棄物	8.38	1.10	0.00	0.00	9.48
汚泥(泥状のもの)	1582.42	0.00	0.00	0.00	1582.42
管理型混合廃棄物	457.91	0.00	0.00	0.00	457.91
鉱さい	728.68	2110.71	0.00	0.00	2839.39
水銀使用製品産業廃棄物	0.00	1.16	0.00	0.00	1.16
廃プラスチック類	269.14	43.26	0.00	0.00	312.40
廃電池	0.04	0.00	0.00	0.00	0.04
廃油	3.14	0.00	0.00	0.00	3.14
木くず	60.80	0.00	0.00	0.00	60.80
合計	3133.11	2157.92	0.00	0.00	5291.03
(これまで実施した取組) 再生利用業者へ処理委託を推進。					
今年度(令和6年度)目標					
産業廃棄物の種類	①優良認定処理業者への処理委託量 ②再生利用業者への処理委託量 ③認定熱回収業者への処理委託量 ④認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量				全処理委託量 (t)
	① (t)	② (t)	③ (t)	④ (t)	
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	1.30	1.66	0.00	0.00	2.96
ばいじん(工場の排ガスを処理して得られるばいじん)	21.08	0.00	0.00	0.00	21.08
安定型混合廃棄物	8.30	1.09	0.00	0.00	9.39
汚泥(泥状のもの)	1566.60	0.00	0.00	0.00	1566.60
管理型混合廃棄物	453.33	0.00	0.00	0.00	453.33
鉱さい	721.39	2089.60	0.00	0.00	2811.00
水銀使用製品産業廃棄物	0.00	1.15	0.00	0.00	1.15
廃プラスチック類	266.45	42.83	0.00	0.00	309.28
廃電池	0.04	0.00	0.00	0.00	0.04
廃油	3.11	0.00	0.00	0.00	3.11
木くず	60.19	0.00	0.00	0.00	60.19
合計	3101.78	2136.34	0.00	0.00	5238.11
(今後実施する予定の取組) 再生利用業者への処理委託を継続。					